

<p>○昭和十七年五月三十日</p> <p>海軍兵曹長 田中末雄</p> <p>海軍主計兵曹長 黒下久吉</p> <p>同 河野豊</p> <p>(各通)</p> <p>海軍司政長官 岡田文秀</p> <p>海軍大佐 伊澤石之介</p> <p>海軍技師 權藤博</p> <p>同 松永幸一</p> <p>同 間野俊士</p> <p>海軍中佐 鬼塚武二</p>	<p>同 戸田淳</p> <p>同 豊田正明</p> <p>同 正木三章</p> <p>同 田中村男</p> <p>同 高橋信夫</p> <p>同 波多野正雄</p>	<p>海軍機關特務大尉 吉井實太郎</p> <p>海軍主計特務大尉 岡村薫二</p> <p>海軍特務中尉 秋山梅藏</p> <p>海軍看護特務中尉 葛原早夫</p> <p>海軍主計特務中尉 井田肇</p> <p>同 山岡榮次郎</p> <p>海軍大尉 川原利壽</p> <p>同 江崎隆之</p> <p>同 矢口瑞夫</p> <p>同 園原雄三</p> <p>同 坂井知行</p>	<p>同 林孝善</p> <p>同 河野六郎</p> <p>同 西山久太郎</p> <p>同 荒居清治</p> <p>海軍少佐 田村健太郎</p> <p>同 永田英雄</p> <p>同 日笠育夫</p>	<p>海軍機關中佐 同</p> <p>海軍主計中佐 同</p> <p>海軍少佐 同</p> <p>海軍少佐 同</p> <p>海軍技師 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>
<p>○昭和十七年六月一日</p> <p>海軍司政長官 岡田文秀</p> <p>海軍大佐 伊澤石之介</p> <p>海軍技師 權藤博</p> <p>同 松永幸一</p> <p>同 間野俊士</p> <p>海軍中佐 鬼塚武二</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>海軍機關特務大尉 吉井實太郎</p> <p>海軍主計特務大尉 岡村薫二</p> <p>海軍特務中尉 秋山梅藏</p> <p>海軍看護特務中尉 葛原早夫</p> <p>海軍主計特務中尉 井田肇</p> <p>同 山岡榮次郎</p> <p>海軍大尉 川原利壽</p> <p>同 江崎隆之</p> <p>同 矢口瑞夫</p> <p>同 園原雄三</p> <p>同 坂井知行</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>
<p>海軍機關特務大尉 吉井實太郎</p> <p>海軍主計特務大尉 岡村薫二</p> <p>海軍特務中尉 秋山梅藏</p> <p>海軍看護特務中尉 葛原早夫</p> <p>海軍主計特務中尉 井田肇</p> <p>同 山岡榮次郎</p> <p>海軍大尉 川原利壽</p> <p>同 江崎隆之</p> <p>同 矢口瑞夫</p> <p>同 園原雄三</p> <p>同 坂井知行</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>	<p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p> <p>同 同</p>

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
葛原智司	川口源兵衛	山縣達雄	檜山哲郎	江場國三	箱山德太郎	上拾石康雄	行方正信	山本明	大淵珪三	青野計式	妹尾知明	青木厚一	工藤芳之助	谷川清澄	白井四郎	字田惠泰	木村寬	岩下豊	和田孝雄	久保田芳光	海軍大尉		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
岡林一夫	福田稔之	源美久	石井信太郎	塚本祐造	岡秀雄	高木清吾	近藤正次郎	都問信	三浦尙彦	河邊忠四郎	平山輝男	日笠浩之	鯨島博一	野村信二	相澤正	一條次明	長谷川知夫	井村行雄	名和孟	押兼正廣			

同 同

山田 正治
西田 嘉逸
相川 清輝
佐藤 重郎
石森 三夫
樺塚 三夫
樋口 俊男
秋枝 三郎
東 一任
高見 俊作
哇元 一郎
村上 敏一
重松 康弘
橋 莊一
後藤 英郎
島 勇次郎
小泉 申平
奥田 武
田邊 正道
山縣 隆嗣
橋本 敏男

同 同

清瀨 文夫
飯田 長平
植山 利正
藤川 利進
藪下 利治
森田 誠志
田村 誠志
三輪 勇之進
宰務 礎
大沼 稻三
松島 茂雄
中村 乾一
佐藤 忠雄
日高 成康
清水 和衛
石井 西二
月形 正氣
吉本 一男
近藤 武憲
村山 龍二
木原 榮

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
浦田正海	飯塚一徳	下田嘉一郎	日向秀	岡田一呂	矢久部芳郎	町田忠次郎	山本貞雄	金井利夫	安部一男	宮内安則	中原幸吉	田中滋穂	藤原弘道	平原政雄	谷口清	佐々木惇夫	徳納浩	鈴木務	野田宏	林秀夫		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
栗田平雄	上野忠弘	大塚禮治郎	葛城正彦	中馬兼四	後藤仁一	西村正直	須藤正一	芦野正一	向山喜彰	高橋達之助	髙原正幸	名越有幸	板倉董	米田忠	山口武男	藤田怡與藏	立川愨之助	原田潔	諸橋久義	西野恒郎		

同 同

加賀野純一 平山茂男 中島萬里 藤原武治 伊藤福三郎 栃木幹正 大野信二 新井信二 福田良夫 三福岩吉 松尾敬宇 吉田房一 佐久間善一 佐藤重久 山本重美 藤井良美 山邊雅男 湯地雅男 平澤豊治 松本憲省

同 同

野阪通夫 鈴木直臣 宮坂雄一 宮嶋尚義 宮口森政 江口元信 若菜元信 射延行雄 山中修明 山下丈二 仲下齊治 外山三郎 武政靜夫 堀政徹 佐藤理一郎 飯塚雅夫 岩元正典 東村巖彦 西村巖生 酒井一清 波邊春雄 佐々木正也

海軍機關大尉

海軍大尉

安永稔	宇都豐	久保木典明	岡田正	桑島康	雨宮康	白井宏	山口隆義	相良辰雄	中山洋臣	水野澄夫	龜山辰夫	天野孝之	山本寛雄	益山正	庄司正見	郷康夫	山田泰雄	時枝重良	吉田秀穂	藤平卓
-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	-----

同 同

田邊常雄	田村増夫	小林平八郎	鈴木哲夫	壽圓正己	服部堯爾	小針和男	石谷悦次	齊藤頼男	山本秀一	坂口昌三	川崎照次	須藤三治郎	三浦治	田中次夫	野田佐男	松本大伍	山元政英	清水善治	鯉沼忠二	和田昇治
------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	------	------	------

同 同

廣 織 猪 泉 中 油 座 江 池 内 柿 天 山 上 平 片 濱 箕 森 酒 村
 瀨 田 原 田 島 井 光 口 田 元 木 春 田 村 野 岡 口 形 山 井 治
 省 常 三 一 三 一 忠 忠 彬 策 弘 龍 亮 敏 政 敏 健
 二 人 夫 清 武 郎 好 夫 侃 男 郎 三 國 嵐 雄 平 雄 從 雄 守 一

同 同

園 堀 上 平 小 在 戶 大 磯 山 大 玉 山 後 鈴 石 牧 中 岩 花 吉
 田 田 森 川 川 塚 次 澤 見 下 上 井 崎 藤 木 井 之 島 元 田 崎
 禎 近 正 德 喜 保 重 茂 尋 幸 豐 顯 利 盛 茂 榮
 克 陽 雄 巳 松 久 雄 憲 等 雄 之 男 榮 巖 俊 賞 三 一 高 美 司

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍機關大尉 同 同 同 海軍軍醫大尉

伊藤 芳生
岡島 健次郎
岡田 健一
齊野 一雄
杉浦 清治
甲野 禮作
木本 信男
目良 德彌
杉浦 喜雄
高藤 歳夫
山本 正三
三輪 寛
長洲 光太郎
井上 武
杉 静男
海東 致道
高村 行雄
笹生 謙三
喜田 正次
宮崎 舜治
清水 慎一

同 同

小谷 順彌
森 鐵太郎
石田 義明
山中 正夫
山藤 吉璋
佐藤 芳衛
高久 辰雄
佐野 鴻一
宮入 一雄
長澤 健一
桑原 時雄
石丸 脩二
中村 成美
小暮 敏勝
渡邊 巖一
田原 駿也
後藤 瀬平
松浦 誠
加々美 勝彦
羽田 春兔
宇佐見 嘉一
福田 明

(各通)

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

森本正紀
佐々木重幸
山崎邦男
鈴木元一
大木辰夫
平松稔夫
松本正二
提弘久
大根田玄壽
堀田康哉
藤井千秋
村上眞士
古城雄二
茶谷亮一
渡邊千春
谷道靜夫
辻達彦
後藤正美
石垣敏夫
植松俊彦
原泰夫

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

近藤良一
園田一彦
遠藤始
工藤吉雄
西村静一
加村弘幸
藤田康三
伊藤喜久男
笠松猛
向井彬
藤本一秋
尾崎文男
新海安彦
助祐三郎
一ノ宮尚志
塩島令儀
高木忠敬
佐木大吉
安間一彌
大矢迪雄
大原管一郎

同	同	同	同	同	海軍藥劑大尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍軍醫大尉	本橋清
鈴鹿匡	歌橋一典	井上康治	山岸正治	濱野正明	岡山敏郎	金崎三三	井上剛吉	小森正次	加藤光	古川正重	吉川裕爾	木下達雄	堀三男三	宇都宮佐	北村宏	長良吉	中村榮一	森晃	井深正彦		

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍主計大尉	同	同	同
高木武	青木勉	伊藤昌	飯塚信一	今井善樹	大屋昭三郎	喜田村健三	今井正	新川正美	松永勇	杉山泰藏	中崎力信	谷川宏	中瀬博次	田邊隆次	井上猛	村田理	田嶋正太郎	松尾貞義	富永大六	横山善夫			

同 同

磯永 淺佐 鈴木 野堀 小堀 梶杉 岩谷 辻安 川口 堤高 篠大 横山
崎田 野藤 木村 田田 野井 本松 中川 喜慶 新龍 原英 塚竹 田光 崎靖
迪恒 賢澄 秀嶋 功之 健一 實明 忠郎 好一 三雄 夫松 四夫

同 同

勝金 板村 久柳 加佐 富三 古大 神菊 加益 安矢 瀧村 市
又尾 倉田 世瀨 勢藤 田井 田塚 谷地 藤田 東島 田上 川
亮正 俊辰 新富 忠正 康一 溫善 庄圭 祐大 俊美 信信 浩
吉信 雄郎 也男 雄雄 次郎 溫善 一 二 昱嶋 義一 之助

海軍主計大尉

同 北脇 信夫
 同 升本 喜徳郎
 同 矢作 光悦
 同 松野 頼三
 同 土屋 勝雄
 同 中村 幸男
 同 新山 茂
 同 藤原 甚六
 同 白石 監一
 同 泉 光秋
 同 山路 國徳
 同 金子 重幸
 同 猿渡 篤敬
 同 増本 正典
 同 深井 丈一
 同 刈谷 徳治
 同 佐久間 富雄
 同 林 泰彦
 同 田中 聖三郎
 同 高橋 喜六郎
 同 秋山 俊男

同 堀川 浩道
 同 日暮 正市
 同 佐藤 政行
 同 古川 信行
 同 小林 亨
 同 小泉 茂吉
 同 安池 欽司
 同 工藤 崇雄
 同 八鍬 四郎
 同 穂波 芳夫
 同 井上 正祐
 同 武藤 昌太郎
 同 岩崎 正亮
 同 中村 泰三
 同 吉川 順太郎
 同 近藤 武之助
 同 吉田 兔四郎
 同 青戸 歸一
 同 松島 正義
 同 神田 誠一
 同 小平 清秀

海軍造船大尉

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
島津	大森	大嶋	藤崎	高橋	相澤	池田	貴田	藤田	垣内	古川	永倉	奥田	小杉	瀬戸	生田	手塚	小島	中瀬	春木	津田
矩久	武英	武豊	誼達	武弘	孝	勝	勝造	攷平	祐三	誠一	俊充	貞樹	英一	秀一	賞	源一郎	穀男	大	英夫	忠克

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
竹崎	飯田	藪田	谷山	玉井	鈴木	石川	川畑	浦久保	長田	秋宗	御所	杉山	古屋	小林	貞森	久野	三矢	千村	藤澤	淺野
嘉真	清	東三	敏夫	義一	弘	早苗	早苗	喜兵衛	米雄	與	讓吉	正治	和彦	勇	俊一	精一郎	篤	幸男	征朗	良一

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

工藤 渡邊 菅原 志熊 丸毛 山崎 重松 藤平 黒川 諏訪 武本 本間 大津 中野 吉村 三好 山田 菅谷 中川 村上 杉山
哲二 文雄 成徳 平治郎 太郎 國夫 恒信 右近 敏之 安定 脩三 喜一 英輔 和雄 清氣 保三 敏太郎 靜男 亙

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

下田 黒田 廣谷 酒井 笹井 井上 瀧岡 山口 曙道 濱道 宮田 重見 二宮 河野 奥野 藤波 石原 宮地 築添 松成
村川 幸成 直龍 平明 高浩 成忠 茂郎 良助 賞孝 願夫 一郎 純平 恒雄 俊夫 巖正 良英

同	海軍技師	同	海軍教授	同	海軍書記	海軍看護特務中尉	海軍工作特務中尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍造兵大尉
相馬紀公	宇野要次	阿部亮一	茶村又一	小田精一	井上良延	三宅時太郎	鹿子嶋勝一	高橋喜膳	森下英男	芝田照樹	鈴木千秋	遠藤博世	堀越善吉	塩澤義雄	内山次郎	川北宗平	後藤秋喜	加藤正夫	木村文市	
(各通)																				
同	同	同	海軍兵曹長	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
梶谷薫	田島源七	松井長太郎	鈴木幸藏	泥谷尙夫	岡田政太郎	大町秀太郎	有田一夫	飯田藤郎	木村信雄	淺川博一郎	北村正章	橋川正夫	正垣大二	三宅晃夫	前田靜雄	竹内清四郎	中村俊郎	惠木正實	田中正作	倉森武雄

敍從七位

（各通）

敍正八位

同 庄司壽登

同 寺角八十一

同 鷺井敏明

同 北村滿榮

同 宮崎龍之助

同 大森清藏

同 矢谷富尾

海軍整備兵曹長 坪井一衛

同 鈴木爲之助

海軍屬 谷口喜太郎

海軍技手 近藤年

海軍齒科醫少尉 淺野頼雄

同 田口芳治

同 和田清司

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年七月一日(水)
海軍大臣官房

○ 雜 款

出征軍人軍屬及在支警察官竝其遺族等慰問金釀出明細表 (四月分)
一金八千七百五拾八圓七錢也

内 譯

(限 内 部)

應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額
海軍大臣官房	五七九〇	海軍省教育局	五七〇	海軍施設本部	一七八七〇	海軍大學校	四二六〇
海軍省調査課	三〇六〇	同 軍需局	八五九〇	南方政務部	三三三〇	海軍軍醫學校	五七六二〇
海軍省電信課	三三三〇	同 經理局	一八九〇	海軍運輸部	一八四〇	海軍經理學校	三五七六〇
海軍文庫	六二七	同 法務局	三三三〇	東京海軍監督官事務所	一七二六〇	橫須賀鎮守府文庫	九八四〇
海軍省軍務局	一八〇〇	軍 令 部	三六九〇	侍從武官府	一三〇〇	橫須賀鎮守府軍法會議	一八五〇
同 兵備局	八九七〇	海軍艦政本部	六九二七	水路部	一六七四〇	橫須賀海軍人事部	五五六七〇
同 人事局 (武功調査會)	一〇三三〇	海軍航空本部	六〇五〇	海軍技術研究所	四三六〇	同 艦船部	一〇二六〇

海軍公報 (部内限) 號外

1574

庫	佐世保鎮守府文	佐世保鎮守府	同 港務部	吳海軍刑務所	吳鎮守府軍法會	海軍工作學校	海軍航空技術支	海軍航空技術廠	團	橫須賀第一海兵	成所	第二海軍技手養	同 刑務所	同 病院	同 建築部	同 軍需部	同 軍需部	橫須賀海軍經理
	一三五〇	五四六〇	三三〇〇	六九〇〇	三九五〇	六九四〇	二六〇〇〇	五五五〇〇	三三八〇〇	九六一〇	七七〇〇	一七七八〇	二七三〇八〇	三六三七〇	三〇五〇〇	二五七〇	一五七〇	二五七〇
	第一海軍火藥廠	第五海軍燃料廠	第三海軍燃料廠	海軍兵學校	野比海軍病院	嬉野海軍病院	大湊海軍工作部	大湊警備府	佐世保海軍刑務	同 病院	同 工廠	同 軍需部	同 經理部	佐世保海軍人事	法會議	佐世保鎮守府軍		
	一九六〇	六六六〇	一三六九七〇	三三五八五〇	八三二〇	一九二九〇	一〇六七〇	一五四八〇	八〇九〇	一〇二九九〇	四七三〇〇	二六六七〇	一三三九〇	六九〇八〇	二五七〇			
<p>昭和十七年五月三十一日 海軍省經理局 海軍主計少佐 兒 玉 茂</p>																		
	八 幡 同	大阪海軍監督官	光海軍工廠	豐川海軍工廠	廣海軍工廠	第四十一海軍航	第二海軍航空廠	大湊支廠(二分含)	第一海軍航空廠	名古屋海軍監督	浦賀同	玉 同	廣 島 同	大阪海軍地方人	大阪警備府	大阪經理部	第四海軍建築部	東京支部
	一六五九〇	一〇三三〇	二九六九〇	一三三三〇〇	一八三二七〇	二二九〇〇	八四四〇〇	三三六九〇	六七一〇〇	四七四三〇	一六〇六〇	一六七三〇	三三九三〇	八七九〇	三六三三〇	二七九〇〇	二八三〇〇	二八三〇〇

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千三百三十一號

昭和十七年七月二日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四〇一四號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時配置ス

昭和十六年官房第六三四〇號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年六月三十日

海軍大臣

	看 守 長	時 長	看 守	時 守
横須賀海軍刑務所	一	一	九	
佐世保海軍刑務所	一		六	
舞鶴海軍刑務所	二		一〇	

(参照) 前記廢止官房號ハ各海軍刑務所ニ看守配置ノ件ナリ(昭和十六年十二月八日(部内限)公報)

官房機密第八一八六號

本年達第百九十二號艦種變更命名ノ際舊艦種名ノ職名

ヲ有スル者ハ特ニ發令セラルルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ新艦種名ノ相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十七年七月一日

海軍大臣

○通 牒

官房第四〇六一號

昭和十七年七月二日

海軍次官

關係各廳長殿

大東亞戰役死歿者功績具申ニ關スル件通牒

大東亞戰役ニ關シ海軍ノ勤務ニ從事セル軍人軍屬ニシテ昭和十六年十二月八日以降死歿セル者ニ對シテハ海軍功績調査規程所定ノ如ク其ノ都度功績調査書類ヲ調製シ速ニ具申方勵行相成度
追テ艦船覆沒等ノ事故ニ依リ功績書類ヲ亡失シタル

海軍公報(部内限) 第四千三百三十一號 昭和十七年七月二日

七〇九

1576

向ハ調査判明セル事項ノミヲ記註具申ノコトニ取計
ハレ度

官房機密第一二八〇號ノ一四

昭和十七年七月二日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關ス
ル例規申左記ノ通改メラレ候

記

附錄 所在地區別符表(其ノ一) 末尾ニ

ル	オ	ソ	ト	ウ壹壹五
キ	ス	カ	ク	ウ壹壹六
ア	ツ	ッ	チ	ウ壹壹七

ヲ加フ

同 部隊區別符表(其ノ一)中「第二聯合特別陸戰
隊 ヲ壹參六」及「舞鎮第三特陸 ヲ壹四貳」ヲ削リ

第十 設 營 班

ウ壹貳壹

第八 軍 需 部

ウ壹四八

第十五 設 營 隊	ウ壹四九
陸軍北海支隊	ウ壹五〇
第五 警 備 隊	ウ壹五壹
第八十四 警 備 隊	ウ壹五貳
三 澤 航 空 隊	ウ壹五參

ヲ加フ

附表中第十海軍軍用郵便所ノ項中「第五派出所 軍艦
鹿島」第十一派出所「クサイ」ヲ、第三十六海軍軍用
郵便所ノ項「第一派出所 二三航戰司令部」ヲ削ル

軍務一機密第四三三號ノ二

昭和十七年七月二日

海軍省軍務局長

各廳長殿

郵便物ノ内容取締ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ既ニ軍務一機密第四三三號申進ノ
通ナル所其ノ後遞信當局ニテ調査シタルニ左記ノ如キ
事例有之從來此ノ種送達ヲ不適當ト認ムル郵便物ハ其
ノ送達ヲ停止シ所轄長宛返戻セラレ居リタルガ場合ニ
依リテハ軍機保護法或ハ海軍懲罰令ニ觸ルルコトナキ

ヲ保シ難キヲ以テ一層嚴重取締相成度

記

- 一、檢閱済ノ表示アル郵便物ノ内容ニ機密事項ヲ記載セルモノアリ
- 一、發信人居所トシテ所屬艦船部隊ヲ記載セズ止宿先等ヲ記載セル郵便物中ニハ機密事項ノ記載セルモノ多シ
- 一、外見ハ純然タル私信ニシテ内容公務ニ亘リ然モ機密事項ヲ記載セルモノアリ
- 一、郵便物取扱ニ關スル例規ニ依ル區別符ト所在地部隊名ヲ併記セルモノアリ
- 一、艦隊入港時面會ノ爲來レル家族ノ通信中ニ海軍軍人ヨリ聞知シタリト認メラルル機密事項ヲ記載セルモノ多シ
- 一、郵便局宛ノ郵便物配布先通知又ハ行動豫定通知ヲ葉書ニテ爲ス所轄アリ
- 一、公文書ニシテ包裝紙或ハ封筒ノ不良ノ爲内容露出シ機密漏泄ノ虞アルモノ多シ
- 一、公文書ニシテ通常郵便トシテ差立可能ナルニ拘ラズ紐ヲカケ小包郵便トシテ差出ス爲一般小包ト同様ニ取扱ハレ封筒破損シ内容露出スルモノアリ

○辭令

海軍中尉 戸田 幸男
 驅逐艦長波審議委員ヲ免ス(海軍艦政本部)
水路部部長兼第四艦隊司令官附海軍技師 横井 鎮男
 主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(水路部長)
 海軍大佐 三浦 速雄
 第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

○雜款

○司令砲艦變更
 第五砲艦隊司令ハ六月三十日司令砲艦ヲ靜海丸ニ變更セリ

○還納兵器取扱ニ關スル件照會
 最近艦船部隊ヨリ當廠器材部馬公出張所(馬公ニハ補給工場ナク唯極ク少人數ノ係員ノミ派遣)ニ航空兵器ヲ還納陸揚又ハ輸送セラルル向極メテ多キモ同地ハ施設、人員竝ニ海上輸送ノ關係上當廠ヘノ轉送ハ極メテ困難ナル實情ニ有之候條爾今當地方ニ於テ艦船部隊還納ノ航空兵器ハ總テ高雄港ニ陸揚又ハ輸送ノコトニ取計相成度

(第六十一海軍航空廠)

○残務整理

第三十二航空隊残務整理ハ第二十一航空隊ニ於テ行フ
(第三十二特別根據地隊)

○訂正

四月二十八日辭令欄中海軍主計大尉矢野泰男ノ辭令月
日「四月五日」ヲ「一月二十五日」ニ訂正ス

○正誤

四月十五日辭令欄三七三頁上段十四行目「第三南遣艦
隊」ハ「第二南遣艦隊」ノ誤

六月二十日通牒欄官房機密第一二八〇號ノ「三」(其ノ
一)中「下」ニ「第三特別根據地隊」ヲ「第
四十三警備隊」ニ改メ「ヲ脱ス

「同」(其ノ二)ハ「同」(其ノ三)ノ誤

同(其ノ四)中「第三特別根據地隊」ヲ「第
四十三警備隊」ニ改メ「ヲ削ル

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四百百三十二號

昭和十七年七月三日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四〇六三號

當分ノ間本邦又ハ關東州ト海軍戰時特例給與規則第一條ニ定ムル地域トノ間及同規則第一條ニ定ムル地域相互間並ニ同地域内各地間ヲ旅行スル海軍軍人軍屬及工員ニ支給スル旅費ハ昭和十四年官房第三八九四號ニ依ル場合ノ外到著廳(出張旅行ノ場合ヲ除ク)ニ於テ之ガ精算ヲ爲スコトヲ得

前金拂ヲ受ケタル者赴任スベキ艦船部隊移動ノ爲海軍戰時特例給與規則第一條ニ定ムル地域ニ追尾旅行ヲ爲シタル場合ニ於ケル旅費ノ精算ニ付又前項ニ同シ

前二項ノ場合ニ於ケル旅費ノ概算拂、精算、追給及追徴ノ手續ニ關シテハ海軍省經理局長ノ定ムル所ニ依ル本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令施行前ノ旅行ニシテ本令施行後旅費ノ精算ヲ爲ス場合ニハ本令ニ依ルコトヲ得

昭和十七年七月二日

海軍公報 (部内限) 第四百百三十二號 昭和十七年七月三日

七二三

海軍大臣

參照 昭和十四年官房第三八九四號ハ本邦又ハ關東州ト支那トノ間並ニ支那各地間ヲ旅行スル海軍軍人軍屬及工員ニ支給スル旅費ノ件ナリ(昭和十四年七月二十四日部内限公報)

○通 牒

經經費第二〇〇號ノ九

昭和十七年六月二十六日

海軍省經理局
賜金國庫債券取扱官吏

各所轄長殿

支那事變賜金國庫債券再交付ニ關スル
件照會

海軍各廳(艦團部隊ヲ含ム)勤務者ノ賜金ニシテ賜金交付前(交付後)不可抗力(艦船遭難其ノ他ノ事故)ニ因リ賜金國庫債券ヲ紛失(毀損)セル場合賜金國庫債券ノ再交付ヲ受ケントスルトキハ別紙書式ニ依リ副製海軍省經理局賜金國庫債券取扱官吏宛送付相成度

追テ賜金交付後受給者戦死ニ依リ賜金國庫債券紛失ノ有無不明ナル場合ハ遺族ニ問合セ紛失ヲ確認ノ上送付ノ事ニ取計相成度
(別紙書式添)

經給第一〇八號

昭和十七年七月二日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

旅費精算ノ特例ニ關スル件通牒

本年官房第四〇六三號ヲ以テ旅費精算ノ特例ノ件令達セラレ候處本件實施ニ當リテハ左記ニ依ル義ト承知相成度

記

- 一 概算拂、精算、追給及追徴竝ニ之ガ計算證明ニ關シテハ昭和十四年經給第六六號赴任(轉勤)旅行ノ項中(一)ノ2、(二)、(四)及出張旅行ノ項ヲ準用ス
- 二 同官房第四〇六三號第二項ニ該當スル場合ハ舊勤務應ヨリ海軍戰時特例給與規則第一條ノ地域ニ旅行スルモノトシテ後應ニ於テ精算ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ舊勤務應ニ於テ爲シタル前金拂ニ付テ

ハ科目更正ハ之ヲ行フヲ要セズ
三 歳入科目ハ軍資金、雜收入、雜收トシ、歳入ニ納付シタル場合ニ於テハ當分ノ間昭和十四年經給第六六號別紙旅費精算濟通知票寫ヲ海軍省經理局長ニ送付スルモノトス

〇 辭 令

海軍司政官 大畑 文七

年額參千四百圓ヲ給ス

同	眞室 亞夫
同	八木 芳信
同	石橋 豐徳
同	湯川 盛夫

年額參千五拾圓ヲ給ス

同 江口 見登留

年額貳千七百七拾圓ヲ給ス

同 小林 行雄

年額貳千五百五拾圓ヲ給ス

同 久保田 義殿

年額千六百五拾圓ヲ給ス(以上 海軍省)

別紙書式

昭和 年 月 日

(昭和十七年七月三日海軍公報(部内限))

所 轄 長 官

海軍省經理局賜金國庫債券取扱官吏宛

支那事變賜金國庫債券再交付ニ關スル件照會

左記ノ者ニ對スル賜金國庫債券交付前(交付済ノ處)事故ノ爲紛失(毀損)致候條再交付方取計相成度

記

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
同發 數表	賜金辭令書 記載ノ番號	賜 金 額	額 面 別 譯	債 券 番 號	官 等 氏 名	電 報 及 兵 籍 番 號

備考

- 一 (1)(2)(6)(7)ノ欄ハ必ず記入サレタシ
- 二 (6)ノ欄官等ハ發表當時ノ官等ヲ記入サレタシ
- 三 戦死セル場合ハ遺族ノ住所、相續人氏名符號添付サレタシ

年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	安井久
(各通)	同		小倉政博
年額貳千五百五拾圓ヲ給ス	同		神田坤六
(各通)	同		藤原重正
年額千八百貳拾圓ヲ給ス	同		百田正弘
(各通)	同		湯淺定晴
年額千六百五拾圓ヲ給ス(以上 ^禁 同)	同		石澤守雄
(各通)	同		重枝義三郎
年額千六百五拾圓ヲ給ス(以上 ^禁 同)	同		養老綾雄
(各通)	同	海軍司政官	福井淳
年額四千五拾圓ヲ給ス	同		平田左武郎
(各通)	同		大島金光
年額參千五拾圓ヲ給ス	同		小坂忠一
(各通)	同		矢賀部狷介
	同		梅原達也
年額貳千七百七拾圓ヲ給ス	同	海軍技師	引野通夫
(各通)	同		渡部彌作
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	高橋常道
(各通)	同		今井研二郎
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	森茂雄
(各通)	同		岩田友三郎
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍技師	出井北郎
(各通)	同		武居好雄
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	河合宗治
(各通)	同		森治樹
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍技師	二木泰雄
(各通)	同		岩井四郎
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	三戸文男
(各通)	同		岡崎七郎
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	大澤融
(各通)	同		今井榮文
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同	海軍司政官	大貫和一
(各通)	同		柿島民堂

海軍公報(部内限)第四千百三十二號 昭和十七年七月三日

七一五

1583

年額貳千五百拾圓ヲ給ス

海軍司政官 濱田 正
同 澤田 悌
海軍技師 近藤市三郎

(各通)

海軍司政官 武藤 勝惠
同 安田 三郎
同 原 亨
海軍技師 伊藤美代治

年額千八百貳拾圓ヲ給ス

海軍司政官 小澤 顯夫
同 高野 佐助
同 眞木 英男
同 塚本 五郎
海軍技師 小林 嘉道

(各通)

年額千六百五拾圓ヲ給ス

同 村上 武夫

年額千四百七拾圓ヲ給ス

同 西山 義雄

年額千參百圓ヲ給ス(以上各同)

同 唐澤 進

(各通)

東京監理官ヲ命ス

海軍艦政本部出仕兼造 河崎 茂治
船監督官海軍機關大佐
海軍艦政本部造船監督官兼 越澤 傳治
造兵監督官海軍航空本部造 兵監督官海軍機關大佐

東京監査官ヲ命ス(以上各同)

海軍中佐 清水 洋

第二課勤務ヲ免シ第一課附ヲ命ス

海軍中佐 鈴木 榮三郎

第二課勤務ヲ命ス(以上各同海軍省教育局)

○ 雜 款

○事務所撤去

第二十一號掃海艇艦裝具事務所ハ六月三十日撤去セリ

○正誤

六月十三日雜款欄郵便物發送先中「(第十五設營隊)」

ハ「(第十三設營隊)」ノ誤

六月三十日海軍公報部内限號外人祕第五號ノ五追書二

中「昭和十五年人祕第四號ノ二」ハ「昭和十五年人祕第四號ノ二一」ノ誤

○事務開始
榆林地方運輸部海口出張所ヲ七月一日海南軍需部海口
供給所内ニ設置事務ヲ開始セリ

○残務整理
第六十六驅潜隊残務整理ハ父島方面特別根據地隊内ニ
於テ之ヲ行フ

(興義丸司令部残務整理員)

○事務所撤去
第五號掃海特務艇艇裝員事務所ヲ六月三十日撤去セリ

○訂正
昨日令達欄官房第四〇六三號月日「七月二日」ヲ「七
月一日」ニ訂正ス

海軍公報 (部内限) 第四千百三十四號

昭和十七年七月六日(月)
海軍大臣官房

○令達

官房第四一三一號

當分ノ間新兵ノ入團(隊)ニ際シ入團(隊)期日以外ニ參着日ヲ定ムル要アル場合ハ入團(隊)期日ノ前七日以内、後三日以内ニ於テ(徵兵ニ在リテハ當該聯隊區司令部下協議シ)鎮守府司令長官之ヲ定ムルコトヲ得

入團(隊)期日前參着ノ者ニ對シテハ海兵團又ハ航空隊内ニ起臥セシメ糧食ヲ給スルコトヲ得

昭和十七年七月六日

海軍大臣

○通牒

軍務一機密第五〇七號

昭和十七年七月六日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

新設航空隊名ノ新聞紙等掲載ニ關スル件

申進

首題ノ件自今當分ノ間練習航空隊ト雖一切新聞紙等ニ掲載セシメザルコトニ定メラレ候

追テ既ニ發表濟ニシテ新聞紙等ニ掲載シ支障ナキ航空隊名左記ノ通ニ有之候

記

横須賀海軍航空隊	大分海軍航空隊
横濱海軍航空隊	宇佐海軍航空隊
館山海軍航空隊	大湊海軍航空隊
木更津海軍航空隊	吳海軍航空隊
鈴鹿海軍航空隊	岩國海軍航空隊
霞ヶ浦海軍航空隊	舞鶴海軍航空隊
筑波海軍航空隊	佐世保海軍航空隊
鹿島海軍航空隊	大村海軍航空隊
谷田部海軍航空隊	鎮海海軍航空隊
百里原海軍航空隊	鹿屋海軍航空隊

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

七三三

1526

佐伯海軍航空隊 土浦海軍航空隊
博多海軍航空隊

○ 辭 令

(各通)

海軍造船學生ヲ命ス

- 川原 隆
- 柴山 則男
- 白石 隆義
- 長谷川 正
- 宗 正
- 岡崎 順一
- 横田 健
- 片岡 謙三
- 田中 太平
- 田村 忠興
- 島 秀三
- 八木 和夫
- 加藤 繁
- 堀田 浩
- 濱岡 泰夫

(各通)

海軍造機學生ヲ命ス

- 中島 幹恭
- 今村 三郎
- 川合 登
- 阿部 純英
- 早川 庄三
- 仲原 哲
- 関田 憲三
- 竹内 寛司
- 野崎 道郎
- 榎引 晋三郎
- 下村 泰彦
- 原 謙次郎
- 鈴木 八郎
- 馬場 道雄
- 佐倉 武久
- 森 昭
- 出原 正孝
- 松本 英二
- 大森 慎一
- 松田 和雄

海軍公報(部内限) 第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

安西武二 吉原理泰 門脇均 深田瑞穂 日置兼左久 指山博義 志村秀造 藤崎忠男 渡邊一之 岩部正平 赤星亮一 中村正十 今成作五郎 栗原裕夫 中村弘道 兒山正中 村田守 真下美佐男 榎木登 守住克己 塚本正文

日高一彦 竹生元彦 加賀山正 瀬高和雄 遠藤洪一 神山士 齋藤一郎 矢部五郎 山本周三 野村克夫 藤井忠邦 依田進 秋間哲夫 高橋宰三 北條司朗 塚越修 眞室哲雄 長宗寛 明石一 増田光男 山家讓二

七二五

(各通)

宇田川 榮男
尾高 昌
平松 一夫
細越 赫二郎
阪口 昌夫
中原 親義
柳澤 徹
小澤 秀司
愛知 儀一
川船 和儀
藤元 克己
中尾 裕英
生駒 鍊郎
森島 泰正
廣光 一治郎
目黒 晋
岡 欣彌
石奇 敬三
秦 謹一
工藤 義重
内田 曙男

鈴木 宏
小出 順平
須田 壽
栗原 壽郎
栗原 友衛
伊藤 彌太郎
多賀谷 吉夫
小倉 晴郎
小原 謙一
小原 三也
宮本 和男
山成 毅
江崎 磐
香月 輝久
宮北 啓
植村 恒義
吉田 俊夫
手島 篤
古屋 久
一瀬 正
桐山 直樹

七二六

海軍造兵學生ヲ命ス

(各通)

山高 茂
西田 邦彦
佐藤 武男
八東 貞吉

海軍造船生徒ヲ命ス

(各通)

石田 政雄
眞竹 利男
長谷川 良三
橋本 裕起

海軍造機生徒ヲ命ス

江口 茂
田邊 金一
向井 潔
加藤 勝人
石塚 眞一

(各通)

中島 喜代彦
高木 信夫
松尾 茂
石黒 主税
山田 貢
鈴木 綱重
岡田 安民
古越 光雄
檜垣 芳夫
才野 陽治
中川 悦夫
堀部 保
西阪 章
生島 久雄
坂本 英一
小林 哲雄
北野 時吉
小林 幹夫
小田 博俊
川崎 隆造
小井戸 新一

海軍公報(部内限) 第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

七二七

海軍造兵生徒ヲ命ス(以上補助海軍省)

海軍少佐 松本 作次

第一課勤務ヲ命ス(以上海軍省軍務局)

海軍主計中佐 岩田 吉雄

第五課勤務ヲ命ス(以上海軍省經理局)

辻村 勇夫	衣川 力	高窪 量平	南里 郁郎	木村 正己	秦 庄司	廣瀬 信義	鹿子嶋 司寛	菅沼 義質	大膳 哲二	種市 鴻二郎	長崎 作治	淺川 繁	齊藤 榮一	内橋 猛
-------	------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	------	-------	------

海軍公報(部内限)第四千三百三十五號

昭和十七年七月七日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第四一五八號

艦船部隊其ノ他各部ニ於テ左記ノ者ニ對シ謝金贈與ノ必要アルトキハ金百圓以内ノ金額ニ限リ豫算上支出官ノ承認ヲ得テ決行スルコトヲ得

一 官有物拾得者

二 艦船遭難、航空機不時着水陸其ノ他事故アリタル場合之ガ救援作業ニ從事セシ者

三 敵ノ潜水艦、航空機其ノ他ノ艦艇等ニ關シ價值アル情報ヲ提供シタル者

昭和四年官房第二五〇二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年七月七日

海軍大臣

(参照) 官房第二五〇二號ハ官有物拾得者等ニ謝金贈與ニ關スル件ナリ(會計法規類集一卷二六六頁)

○通牒

兵備二機密第五七一號

昭和十七年七月六日

關係各廳長殿

海軍省兵備局長

硼砂、硼酸使用制限ニ關スル件照會

首題物資ノ需給ハ極度ニ逼迫シアルヲ以テ自今左記ノ如キ用途ニ對スル配當又ハ配給幹旋ハ制限又ハ中止ニ付了知相成度

尙既發註分モ極力代替品ニ轉換方取計相成度

記

一 玻璃鐵器製品

但シ硼砂、硼酸ノ配合ナキモノハ此ノ限ニ在ラズ

二 硝子製品(硼砂、硼酸ノ配合アルモノ)

但シ特殊用途ノモノヲ除ク

三 直接軍需用以外ノ熔接劑

四 其ノ他軍需ニ直接關係ナキ雜製品

○感狀

海軍公報(部内限)第四千三百三十五號

昭和十七年七月七日

七二九

1592

布哇海戰參加部隊

昭和十六年十二月八日開戰劈頭長驅敵布哇軍港ヲ奇襲シ其ノ飛行機隊ヲ以テ敵米國太平洋艦隊主力及所在航空兵力ヲ猛撃シテ忽其ノ大部ヲ擊滅シタルハ爾後ノ作戰ニ寄與スル所極メテ太ニシテ其ノ武勳顯著ナリト認ム
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス
昭和十七年四月十五日
聯合艦隊司令長官 山本 五十六

○辭令

山内 豊陽
徵用中年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(二明海軍省)

安藤 正一

徵用中年額千四百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(七明同)

井上 豊
參千八百八拾八圓
石橋 肇
貳千八百八圓
海軍豫備機關 中尉從七位
松尾 信次
貳千貳百六拾八圓

(各) 貳千五拾貳圓
竹中 三郎
海軍豫備機關 中尉從七位

千九百四拾四圓
海老原 榮治
海軍豫備中尉從七位

千四百四拾圓
宮本 鐵郎
海軍豫備機關兵曹長

千貳百九拾六圓
武井 重太郎
海軍豫備一等兵曹

徵用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(十五明同)

千四百圓
吉村 哲次
海軍豫備一等兵曹

徵用中年額貳千九百五拾貳圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(十六明同)

梅垣 正身
專賣局技手兼專賣局書記

第四艦隊司令部附ヲ命ス
(三十五明同)

稻留 邦孝
通信書記 松崎 勝好

(各通)
遞信局書記 竹永 俊夫

通信書記補 岡部 虎之助

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス
(各通)

事務員 志水 洋
集配員 山口 秋好

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

通信書記 相澤 主

第三十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス(以上^{二七〇}同)

海軍中佐 岡村 於菟彦

第二課勤務ヲ命ス(五七〇 海軍省人事局)

第二十二航空隊司令 令部附海軍主計中尉

小室 公夫

艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ免ス(四〇四 支出官 海軍省經理局長)

海軍主計大尉 田中 義夫

第一百海軍燃料廠第四作業部ニ要スル給與及其ノ他

ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上^{二七〇}同)

小林 寛一

海軍大佐 倉田 七郎

日章丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計兵曹長 千葉 朝夫

三澤海軍航空隊殘留隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上^{二七〇}同)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第三十三潜水艦ハ六月五日司令潜水艦ヲ呂號第六十三潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

七月九日以降 横須賀郵便局經由

ウ壹〇五、ウ壹〇九氣付(軍事郵便)

(第二十一號掃海艇)

吳郵便局經由

第二十五海軍軍用郵便所氣付

(軍艦 殿 島)

司令、軍醫長宛

機關長、主計長宛

(第六驅逐隊)

○事務開始

第六航空廠ルオツト分工場ハ七月一日事務ヲ開始セ

リ

追テ郵便物發送先ハ

横須賀郵便局氣付

ウ九壹、ウ壹貳六、ウ五八

○殘務整理

舊第六設營班殘務整理ハ第三百三海軍建築部タバオ支部

海軍公報 (部内限) 第四百百三十五號 昭和十七年七月七日

七三一

内ニ於テ之ヲ行フ
追テ郵便物發送先ハ
佐世保郵便局氣付
テ四參 テ參壹 テ參〇
(第百三海軍建築部)

1595

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第四千百三十六號

昭和十七年七月八日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四〇〇一號ノ二

昭和十七年六月三十日

海 軍 大 臣

船舶海難事故處理委員會委員長殿

船舶海難事故處理委員會ニ關スル件訓令

貴官ハ委員ヲ督シ徵備船舶相互又ハ徵備船舶ト一般民間船舶トノ事故ヲ究明シ其ノ責任ヲ判定シ損害賠償問題等ニ關聯スル資料ノ調整ニ任ズベシ

官房機密第八五〇四號

大東亞戰爭ニ際シ鎮守府司令長官ハ飛行特技部隊ノ飛行特技ノ配置ニ在ルモノノ缺員補充上已ムヲ得ザルトキハ飛行特技者又ハ飛行特技兵ニ非ザル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得此ノ場合配員先所轄長ハ必要ニ應ジ特技訓練ヲ實施スルモノトス
前項ニ依リ飛行特技訓練ニ従事スル者及同訓練ヲ終了

シタル者ノ入事取扱及給與ニ關シテハ昭和十六年官房機密第四九五七號第二號、第十三號及第十四號ノ規定ヲ準用ス
昭和十七年七月八日
海 軍 大 臣

○通 牒

官房第四一九〇號

左ノ各號ニ對スル臨時海軍規格ヲ別紙ノ通定ム

別紙ハ海軍艦政本部ニ於テ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和十七年七月八日

海 軍 次 官

- 一 堅練ベイント試験方法
- 二 堅練亞鉛華
- 三 堅練黃鉛
- 四 堅練紺青
- 五 堅練酸化鐵粉

海軍公報(部内限)第四千百三十六號

昭和十七年七月八日

七三三

1596

<p>六 堅練黒</p> <p>七 堅練リトボン</p> <p>八 堅練チタン亜鉛白</p> <p>九 油ワニス及同試験方法</p> <p>十 塗料用精度試験方法</p> <p>十一 トリクレン(トリクロールエチレン)</p> <p>十二 特用苛性ソーダ</p> <p>十三 堅練緑</p> <p>十四 堅練リトボン亜鉛華</p> <p>十五 塗料用黄色有機顔料</p> <p>十六 塗料用青色有機顔料</p> <p>十七 カババイタ</p> <p>十八 罐用空氣豫熱管</p> <p>十九 メートル細目ねぢ第一號ノ寸法差及公差</p> <p>二十 ウイツトウオース細目ねぢ第二號ノ寸法差及公差</p> <p>二十一 ウイツトウオース細目ねぢ第三號ノ寸法差及公差</p> <p>二十二 ねぢ限界ゲージ方式(メートルねぢ第一號)</p> <p>二十三 ねぢ限界ゲージ方式(ウィットウオースねぢ第一號)</p>	<p>二十四 ねぢ限界ゲージ方式(メートル細目ねぢ第一號)</p> <p>二十五 ねぢ限界ゲージ方式(ウィットウオース細目ねぢ第二號)</p> <p>二十六 ねぢ限界ゲージ方式(ウィットウオース細目ねぢ第三號)</p> <p>二十七 ねぢ限界ゲージ</p> <p>兵備四機密第二二五號</p> <p>昭和十七年六月二十九日</p> <p>海軍省兵備局長</p> <p>各鎮守府 各警備府 參謀長殿</p> <p>住宅營團等建築家屋借用ニ關スル件通牒</p> <p>首題ノ件別紙ノ通り決裁相成候條可然取計相成度</p> <p>追而本件ハ分讓式住宅ヲ除キ府縣市町村營等ノ建築家屋ヲ含ム義ニ有之</p> <p>(別紙)</p> <p>官房機密第八〇八四號</p> <p>昭和十七年六月二十九日決裁</p> <p>住宅營團等建築家屋一部借用ニ關スル件</p>
---	---

仰裁

本年官房機密第一八九〇號決裁ニ依ル徵用期間ノ延長ニ際シ別紙理由ノ通海軍作業廳ノ作業ヲ一層昂揚發揮セシムル爲所屬要員ノ居住ヲ安定シ且住宅難緩和ノ應急對策トシテ財團法人住宅營團等ニ於テ豫テ建築ニ係ル海軍要員用ノ家屋ヲ海軍ニ於テ借用シ左ノ條件ヲ以テ居住セシムルコトニ取計ヒ可然哉

記

一 居住條件

(一) 範圍

父母妻子ト別居中ノ被徵用者ニシテ徵用期間ヲ延長セラレ父母妻子ヲ作業廳所在地ニ移轉セントスル者ノ内所屬廳長ニ於テ適當ト認ムル者但シ主トシテ新規徵用ノ妻帶者トス

(二) 家屋使用料

居住者ノ負擔スル家屋使用料ハ家賃ノ六割(十錢未滿八十錢ニ繰上グ)トシ家屋所有者ニ支拂ハン

(三) 居住者ノ責任

家屋ノ日常ノ保存手入ハ居住者ノ義務トシ修理費ハ家屋所有者ノ負擔トス天災又ハ不可抗力ニ依ル

滅失毀損ハ居住者ノ責任トセズ

二 統轄

鎮守府(警備府)司令長官ハ部下作業廳ニ對スル住宅戸數ノ配分及居住者ノ順位ヲ定ムルモノトス

三 經費支辨科目

- (イ) 工 作 應 附屬費(整理符號一一〇)
 - (ロ) 火藥廠及燃料廠 作業費、雜給及雜費、雜件費
 - (ハ) 建 築 部 臨時軍事費、營繕費、作場費
 - (ニ) 港 務 部 臨時軍事費、軍港要港費、浚渫費
 - (ホ) 軍 需 部 臨時軍事費、艦營費、保管運搬費
- (別紙略)
- 臨時軍事費、造船造兵及修理費、雜費
- 臨時軍事費、衣糧費、雜費

○ 辭 令

(各通) 海軍豫備學生 井口進八郎
同 松浦三郎
臨時聯合艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之ヲ免

海軍公報(部内限) 第四百百三十六號 昭和十七年七月八日

七三五

シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス

海軍豫備學生 竹永 一雄

臨時第一南遣艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之ヲ免シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス

海軍豫備學生 河崎 繁雄

臨時第二南遣艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之ヲ免シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス

海軍豫備學生 佐藤 行夫

(各通) 同 鳥田 英男
同 小林 憲二

臨時第三南遣艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之ヲ免シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス(以上一六〇海軍省)

○ 雜 款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付 ヲ壹〇五 ヲ壹參四
(臺南海軍航空隊)

軍事郵便物 横須賀郵便局經由

ウ五〇 ヲ四四氣付
(第三號敷設艇)

○書類發送先
當隊朝潮、荒潮當分ノ間分離行動ニ付關係書類ハ各艦宛送付ヲ得度
(第八驅逐隊)

○事務所撤去
驅逐艦長波艦裝員事務所ヲ六月三十日撤去セリ

第三號敷設艇裝員事務所ヲ六月三十日撤去セリ

○正誤
昨七日令達欄官房第四一五八號中官有物拾得者ノ前ニ「記」ヲ脱ス

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千百三十七號

昭和十七年七月九日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四一八四號

當分ノ間本溪湖海軍監督官事務所ノ經費ハ在滿洲國帝國大使館附武官ヲ資金前渡官吏トス

本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年七月八日

海軍大臣

官房第三八六二號ノ二

雜役船ノ供用先ヲ左ノ通變更ス

昭和十七年七月九日

海軍大臣

船種	船名	舊所屬	新所屬	別定數	記事
曳船兼交通船 (四百三十噸)	海清	佐世保海軍港務部 第二海軍工作部用	佐世保海軍港務部 支那方面艦隊司令部供用	臨時附屬	

官房機密第八五四九號

艦船乗組ノ艦警備人ニシテ當該艦船沈没其ノ他ノ事由ニ依リ所轄ナキニ至リタル場合ハ當分ノ間雇員備人規則第三條別表ノ定限ニ拘ラズ一時所管鎮守府海兵團ノ定員外備人トシテ轉備スルコトヲ得

昭和十七年七月九日

海軍大臣

官房機密第八五五〇號

大東亞戰爭中出征スル艦船部隊ノ下士官及兵ノ被服物品選納其ノ他ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年七月九日

海軍大臣

- 一 所轄長ハ進出地ニ於テ不要ト認ムル被服物品アルトキハ之ヲ最寄海軍軍需部ニ一時選納セシメ艦船部隊内地歸還ノ際又ハ新ニ配屬セラレタル艦船部隊ニ於テ交付ヲ受ケシムルコトヲ得
- 二 前號ニ依リ選納セシメタル被服物品ノ交換期限ニ

海軍公報 (部内限) 第四千百三十七號

昭和十七年七月九日

七三七

付テハ經過年數ハ之ヲ通算セズ再交付ノトキヨリ起算スルモノトス

- 三 還納セシムベキ被服物品ハ所持定數ニ應ジ最新、最古、中古ノ順トシ再交付ノ際ハ最新ノモノヲ還納セルモノニ對シテハ新品ヲ、其ノ他ノモノヲ還納セルモノニ對シテハ再用古品ヲ充ツルモノトス
- 四 本令ニ依リ還納セル被服物品ノ交付表記入ニ付テハ一時還納ノ旨及前號ノ區分等ヲ朱書スルモノトス
- 五 所轄長ハ還納セシメタル被服物品ノ品名、數量、下士官及兵ノ員數、還納軍需部及還納年月ヲ海軍大臣ニ報告スルト共ニ所管ノ海軍軍需部長ニ通報スルモノトス

○ 通 牒

經覽第三八號

昭和十七年七月七日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

戰利品ノ輸入取扱竝ニ國內拂下ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ今般大藏省主稅局長ト左記ノ通協定致

候

追テ第五號ニ依リ拂下ヲ爲シタルモノハ同局へ連絡ヲ要スルニ付拂下ノ都度別紙様式ニ依リ戰利品國內拂下通報二通ヲ調製シ送付ノコトニ取計相成度

記

- 一 戰利品ハ總テ關稅定率法ニ依リ輸入稅ヲ課セラレベキ物品以外ノモノトシテ取扱ヒ非課稅ト爲スコト
- 二 銃砲戰車等ノ兵器以外ノ戰利品ガ外國貿易船ニ依リ輸入セラレタルトキハ海軍當該官ノ作製セル戰利品タル證明書アル場合ニ限り前號ニ依リ非課稅ノ取扱ヲ爲スコト共ニ其ノ輸入手續ニ付テハ特ニ簡易ナル取扱ヲ爲スコト
- 三 銃砲戰車等ノ兵器以外ノ戰利品ガ軍所屬ノ艦船ニ依リ輸入セラレタルトキハ證明及輸入手續ヲ省略シ差支ナキモ之ガ引取貨物ノ品名數量ハ別途適宜ノ方法ヲ以テ稅關ニ連絡スルコト但シ軍以外ノ者ヲシテ引取手續ヲ代行セシムル場合ニ於テハ海軍當該官ノ作製セル軍ノ代理者タル證明書ヲ關係稅關ニ提出セシムルコト
- 四 外國ニ於テ拂下グヲ受ケタル戰利品ヲ輸入スル場合ニ於テハ其ノ積載船舶ノ如何ヲ問ハズ總テ一般輸

(別紙)

昭和 年 月 日

(昭和十七年七月九日公報(部内限))

海軍省經理局宛

戦利品國內拂下通報

應 名

品名	数量	単價	代價	拂下年月日	拂下先	記事

備考 一、拂下先毎ニ別紙ニ調製スルコト

二、記事欄ニハ拂下ゲタル戦利品ノ元受訓令又ハ同認許番號ヲ記入スルコト

三、單價算定ノ基礎ヲ別紙ニ記載シ添付スルコト

入貨物ト同様ニ取扱フコト
 五 戦利品中關稅、消費稅等ノ課稅品タル物品ヲ國內ニ於テ拂下スル場合ニハ各稅込價格ニ依ルコト
 (別紙添)

艦本機密第一號ノ七一七一
 昭和十七年七月六日

海軍省軍務局長
 海軍艦政本部總務長

關係各廳長殿

假稱零式時限信管艦船搭載ニ關スル件通知
 當分ノ間首題信管ヲ附記彈種用トシテ艦船ニ搭載ノ上實用ノコトニ定メラレ候

追テ本信管ノ取扱ハ九一式時限信管ト同様(但シ補正ノ要ナシ)ナルモ大口徑砲彈丸用トシテノミ使用スルモノニシテ之以外ノ彈丸ニ使用セバ信管毀損スルコトアルニ付注意相成度

名 稱	使 用 彈 種
假稱零式時限信管	大口徑砲用零式通常彈 大口徑砲用假稱三式通常彈

○ 辭 令

船舶海難事故處理委員會委員長ヲ命ス
 海軍中將 副島 大助

海軍大佐 有賀 武夫

同 林 彙 邇

同 高田 利 種

海軍中佐 佐藤 述

同 吉田 英 三

海軍少佐 佐藤 祐 生

海軍主計大佐 岡 保 三

同 島津 惣 次

海軍主計中佐 田中 東 洋 男

同 中馬 轍 二

海軍法務大佐 島 田 清

海軍法務中佐 金井 重 男

(幹事) 以上 海軍省

船舶海難事故處理委員會委員ヲ命ス(以上 海軍省)

海軍主計中佐 林 雄 二

第二課勤務ヲ命ス(以上 海軍省兵備局)

(各通)

海軍技手 小西 太造

同 内山 準次

第二臨時海軍設營班班員ヲ命ス(予部海軍施設本部)

○ 雜 款

○事務所撤去
沖島殘務整理事務所ハ七月五日撤去セリ

海軍公報 (部内限) 第四百三十八號

昭和十七年七月十日(金)
海軍大臣官房

○通牒

航本機密第七九三二號
昭和十七年七月九日

海軍航空本部長

關係廳長殿

プロペラ流用ノ件通牒

當分ノ間九六式陸上攻撃機(金星發動機五〇型裝備)
用「プロペラ」ヲ九七式飛行艇(金星發動機五〇型裝
備)用ニ流用スルコトヲ得

○辭令

金子 靖夫

海軍艦政本部ニ於ケル購買事務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(三三海軍省)

參千四百八拾圓

館谷 徳治

(各通)

貳千八百四拾四圓 高松 松雄
貳千四拾圓 吉川 清助
千八百圓 杉本 芳夫

第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官
待遇トス(三三海軍省)

海軍豫備少尉 波多野 正己

第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額貳
千八百貳拾圓ヲ給ス(三三海軍省)

貳千四百四拾八圓 勳八等 長谷川小藤治
貳千參百七拾六圓 三浦 福太郎
(各通) 千參百四拾四圓 村岡 巽
千參百貳拾圓 東野 政一

徵用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(三三海軍省)

第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額四千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇

小川 仁一

海軍公報(部内限) 第四百三十八號 昭和十七年七月十日

七四一

1605

トス(五五同)

第三海軍燃料廠ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(五二同)
正七位 小林 徳司

臺灣總督府技師 橋本 梅治
海南警備府ニ於ケル氣象業務囑託ヲ解ク
窪田 勝年

第三南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上六四同)

海軍省事務ヲ囑託ス
陸軍少尉 安永 鐵三郎

(各通)

- 小 関 良平
- 奥 田 立夫
- 齋 藤 武幸
- 永 山 力猪
- 宮 田 達郎
- 黒 田 勇八
- 久 保 田 俊
- 森 昭 八
- 齋 藤 正巳
- 秋 山 養之助
- 大 塚 道
- 丹 内 爲吉

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

- 野田 眞三郎
- 古 谷 晋
- 橋本 寛治

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス(以上六四同)

- 岡本 久壽
- 安田 博徳
- 岩佐 重三
- 三 亀 秀人
- 村 上 有
- 河 村 佐吉
- 森 田 正夫
- 原 田 仁市
- 田 中 時夫
- 島 武 士

(各通)

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス
地質調査所技師 別所 文吉
地質調査所技師 別所 文吉
地質調査所技師 磯 己代次
第三南遣艦隊司令部附ヲ免ス(以上六四同)

<p>海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 小川 榮一 正六位 山崎 恒 吉田 三郎 照井 武雄 野々村 和吉 石川 英助</p>	<p>南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 陸軍少尉 山崎 英雄</p>	<p>南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス(以上 ヲ指シ同) 臺灣總督府技師 塩 隆 義</p>	<p>海南警備府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(ヲ指シ同) 商工技師 安田 三郎</p>	<p>南西方面艦隊司令部附ヲ免ス 須田 爲 總</p>	<p>第十一航空艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス 但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス (以上ニ同)</p>	<p>臺灣總督府專賣局技師 守田 富吉 海軍省事務ヲ囑託ス</p>	
<p>海軍省事務囑託ヲ解ク 遞信局書記 本宮 祐 敏</p>	<p>海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス 但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 海軍豫備兵曹長 中林 奇一</p>	<p>第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス 但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 神澤 千秋</p>	<p>支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス 但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 安池 忠 夫</p>	<p>(各通) 營林局技師 佐藤 正 氣</p>	<p>第一海軍火藥廠ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額百貳拾圓ヲ贈與ス 宮城縣立榮田 農林學校教諭 渡 邊 靖</p>	<p>(各通) 南洋廳技師 田 吹 行 雄 同 安田 政 雄 同 石 祝 進</p>	<p>第四海軍建築部ニ於ケル土木業務ヲ囑託ス(以上</p>

海軍公報(部内限) 第四千三百三十八號 昭和十七年七月十日

七四三

(七四四同)

第四課勤務ヲ命ス(七四四海軍省軍務局)
海軍中尉 土田 勝彌

瑞西派遣官事務所ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前
渡官吏ヲ命ス
海軍主計大尉 田邊 隆次

南西方面艦隊民政府ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支
拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス
海軍主計中尉 稻垣、利一

第十五設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲
艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(以上詰支出官 海軍
省經理局長)

○ 雜 款

○旗艦變更
南西方面艦隊司令長官ハ七月八日旗艦ヲ足柄ニ變更セ
リ

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
司令、主計長宛 第一京仁丸

軍醫長、機關長宛

(第二京仁丸、
第二十六掃海隊)

○練習生採用試験問題發送
第十四期丙種飛行豫科練習生採用試験問題
右七月五日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ
至急通知相成度

記

- 一 單獨試験豫定各部ハ直送
- 一 聯合試験用ノモノハ各海軍人事部長、各警備府副
官宛送付
- 一 行動其ノ他ノ都合ニ依リ聯合試験參加不能ノ向ニ
對スル分トシテ各海軍人事部長宛若干部送付
(第十一聯合航空隊司令部)

○事務所設置
第二十二號掃海艇艇裝具事務所ヲ七月五日東京市深川
區豊州二丁目石川島造船所深川工場内ニ設置セリ

○正誤
七月六日附辭令欄七二五頁下段七行目「齋藤一郎」ハ
齋郷一郎ノ誤